別紙１

【中央環状線整備計画について】

首都高速中央環状線は、圏央道・外環とともに首都圏３環状道路を形成し、都心から半径約８ｋｍの最も内側に位置する環状道路です。

中央環状線の東側と北側の区間は既に完成し、今回はその西側区間である約１１ｋｍの中央環状新宿線のうち、４号新宿線～５号池袋線間の６．７ｋｍが開通し、中央環状線４７ｋｍの約７割が完成しました。２００９年度には４号新宿線～３号渋谷線間の４．３ｋｍが開通予定で、さらに、２０１３年度には中央環状線の最終区間である中央環状品川線の９．４ｋｍが開通予定であり、中央環状線全線が開通します。

中央環状線が開通すると、都心環状線に集中していた通過交通が分散され首都高速道路全体の流れがよくなるとともに、目的にあわせたさまざまなルート選択が可能になります。